

問1 鎌倉幕府において、将軍が御家人の所領を保護・保証することを何という？

1. 所領安堵 2. 奉公 3. 知行国 4. 御恩

問2 『徒然草』のように、筆者が日々の出来事や感じたことを自由に書き留める文学形式を何という？

1. 歌集 2. 随筆 3. 説話集 4. 軍記物

問3 東大寺南大門などに見られる、鎌倉時代の武士の気風を反映した力強い文化を何という？

1. 室町文化 2. 鎌倉文化 3. 天平文化 4. 国風文化

問4 座禅を通して修行し、自己の心を見つめることを重視する、鎌倉幕府から保護を受け武士に広まった仏教の一派を何という？

1. 禅宗 2. 浄土宗 3. 浄土真宗 4. 日蓮宗

問5 鎌倉時代に新しい仏教の一派である「時宗」を開き、布教活動を行った僧侶を何という？

1. 日蓮 2. 道元 3. 一遍 4. 親鸞

問6 鎌倉幕府において、将軍が御家人の何を守る（安堵する）ことを根拠とした主従関係を「御恩と奉公」という？

1. 土地 2. 年貢 3. 商圏 4. 貨幣

問7 1274年にモンゴル帝国が初めて日本を襲撃した戦いを何という？

1. 弘安の役 2. 元寇 3. 文永の役 4. 応仁の乱

問8 二度の元寇の際、鎌倉幕府の執権として指揮をとった人物は誰？

1. 北条時宗 2. 北条貞時 3. 北条時頼 4. 北条高時

問9 法然が掲げた、ただ念仏を唱えるだけで救われるという教えを何という？

1. 専修念仏 2. 護国信仰 3. 唱題 4. 座禅

問10 鎌倉時代初期に焼失したあと、源平の戦いの後に再建された奈良にある有名な寺院を何という？

1. 興福寺 2. 法隆寺 3. 唐招提寺 4. 東大寺

問11 法然が庶民に信仰を広めた、死後の安らかな世界を何という？

1. 解脱 2. 涅槃 3. 浄土 4. 極楽

問12 鎌倉時代後期に、困窮して幕府の支配に抵抗するようになったかつての幕府の味方は誰？

1. 御家人 2. 公家 3. 荘園領主 4. 地頭

問13 鎌倉時代に栄西によって伝えられ、曹洞宗とともに武士から厚い支持を受けた禅宗の宗派を何という？

1. 臨済宗 2. 時宗 3. 浄土宗 4. 日蓮宗

問14 鎌倉幕府が、年貢の徴収や土地の管理、治安維持のために各地に置いた役職を何という？

1. 守護 2. 評定衆 3. 執権 4. 地頭

問15 元寇の際、防衛のために石築地が築かれた現在の福岡県にある湾を何という？

1. 鎌倉 2. 壇ノ浦 3. 博多湾 4. 大宰府

問16 琵琶法師によって語り継がれた、平氏一族の栄枯盛衰を描いた軍記物語を何という？

1. 徒然草 2. 平家物語 3. 方丈記 4. 古今和歌集

答え合わせ・解説

問1	答え 1 所領安堵	所領安堵とは、御家人が持つ土地の支配権を将軍が保証する仕組みです。御家人は、将軍からこの御恩を受ける代わりに、戦場での戦いや京都の警備といった軍役を果たす義務がありました。この「御恩と奉公」の精神が、幕府の強力な支配体制を支える土台となりました。
問2	答え 2 随筆	随筆（エッセイ）は、決まった形式に縛られず、個人の内面や世の中に対する洞察を記すものです。鎌倉時代には吉田兼好の『徒然草』が、平安時代の清少納言の『枕草子』と並ぶ代表的な随筆として知られます。
問3	答え 2 鎌倉文化	鎌倉文化は、質実剛健を重んじる武士の性格が反映され、力強く写実的な表現が特徴です。彫刻では運慶・快慶による力強い仏像が作られ、文学では『平家物語』のような戦いの様子を描いた物語が好まれました。建築でも、東大寺南大門に代表されるような、堂々とした様式が取り入れられました。
問4	答え 1 禅宗	禅宗は、厳しい修行や座禅を通して、自らの内面を見つめることを教える仏教です。特別な書物よりも、師から弟子への心身を通じた教えを重んじました。その簡素で厳格な生活態度は、武士たちの気風と非常に相性が良く、幕府の庇護もあって急速に普及しました。
問5	答え 3 一遍	一遍は浄土教の一派である時宗を開きました。彼は諸国を旅しながら、念仏を唱えて踊る「踊念仏」や、念仏を記した札を配る「賦算（ふさん）」といった活動を行い、身分を問わず広く信仰を集めました。彼の活動記録は「一遍上人絵伝」として残されています。
問6	答え 1 土地	将軍は御家人の領地（本領）を「安堵（保証）」し、時には新しい領地（新恩給与）を与える「御恩」を与えました。一方、御家人は戦いの際に軍役に従事したり、幕府の警備をするなどの「奉公」を行いました。
問7	答え 3 文永の役	この戦いは文永の役と呼ばれ、元軍は対馬や峇岐を占領した後に博多湾に上陸しました。日本の武士は集団戦法を用いる元軍に苦戦しましたが、嵐の影響などで元軍が撤退したため、大きな戦禍は最小限に留まりました。
問8	答え 1 北条時宗	北条時宗は鎌倉幕府の第8代執権です。元からの服属要求に対し、使者を処刑するという強硬な姿勢をとりました。1274年の文永の役、1281年の弘安の役の際には、自ら指揮を執り、防塁の建設や御家人への動員命令を通じて国家の危機を救いました。
問9	答え 1 専修念仏	専修念仏は、複雑な修行や学問を必要とせず、ただ「南無阿弥陀仏」と念仏を唱えるだけで、阿弥陀仏の救いを受けて浄土へ往生できるという教えです。法然によって提唱されたこの思想は、難しい修行ができない庶民にも広く理解されました。
問10	答え 4 東大寺	鎌倉幕府の協力のもと、重源という僧が中心となり、東大寺の再建が進められました。全国から寄付を募り、当時の最高の仏師たちによって多くの仏像が新造されました。南大門の金剛力士像はその象徴として制作されたものです。
問11	答え 3 浄土	浄土とは、阿弥陀仏が治める、迷いや苦しみから解放された極楽世界のことを指します。法然は、この浄土へ生まれ変わることを願い、ひたすら念仏を唱えることが重要だと説きました。この信仰は、現世の不平等に苦しむ人々にとって、唯一の救いとしての意義を持っていました。
問12	答え 1 御家人	経済的に追い詰められた御家人は、借金を重ねるなどして没落していきました。その結果、一部の御家人は荘園領主の土地を奪ったり、幕府の命令を無視して年貢の徴収を妨害したりする「悪党」となりました。この存在は、鎌倉幕府の支配体制が全国的に崩壊しつつあることを象徴しています。
問13	答え 1 臨済宗	臨済宗は、栄西が中国（宋）から日本に伝えた禅宗です。座禅を通じて自分自身を見つめ直し、悟りを開くことを目的とします。座禅の際に問いかけを用いる「公案（こうあん）」という独特の修行方法があるのが特徴です。
問14	答え 4 地頭	地頭は、荘園や公領において年貢の取りまとめや土地の管理を行いました。また、治安維持や裁判の補助を行う警察的な役割も担うようになり、次第に現地の武士として強い権力を持つようになりました。
問15	答え 3 博多湾	博多湾は、元軍の主要な上陸地点となりました。二度目の襲来（弘安の役）に備え、幕府は博多湾岸に「石築地（防塁）」を築かせ、元軍の騎馬隊が上陸するのを防ぐとともに、日本軍が弓矢で戦いやすいような工夫をしました。この防衛線の強固さが、元軍の上陸を阻む大きな要因となりました。
問16	答え 2 平家物語	『平家物語』は、平清盛をはじめとする平氏一族の栄華と、源氏との戦いによる滅亡を描いた作品です。「祇園精舎の鐘の声」という有名な一節にあるように、世の中の無常さを説く「無常観」が根底に流れています。